

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成29年5月25日 (2017.5.25)

【公開番号】特開2015-227149(P2015-227149A)

【公開日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2014-114543(P2014-114543)

【国際特許分類】

B 6 0 R 22/20 (2006.01)

B 6 0 R 22/26 (2006.01)

B 6 0 N 2/44 (2006.01)

B 6 0 R 22/32 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 R 22/20

B 6 0 R 22/26

B 6 0 N 2/44

B 6 0 R 22/32

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月4日 (2017.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 6 】

ストライカの中央部 3 2 b を折曲して段部を設け、ストライカを段付き形状に成形すれば、ショルダウェビング 1 8 c の折り返し部が中央部に引っ掛かりやすく、ショルダウェビングの横滑りを防止することができる。

また、図 3 ( B - 1 ) のようにストライカの自由端 3 2 a を折曲すれば、ショルダウェビング 1 8 c の横滑りや自由端からのショルダウェビングの脱落を確実に防止できる。

さらに、図 3 ( A - 1 ) ではストライカの自由端 3 2 a を後方に折曲させているが、前方に折曲してショルダウェビング 1 8 c を挿通させてもよい。また、ストライカの自由端 3 2 a を前後に折曲せず、自由端、凹部のシート内方側の側面 2 0 S ' 間からショルダウェビング 1 8 c の折り返し部を差し入れて、ショルダウェビングをストライカに挿通させてもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 9 】

図 7 に示すように、ストライカ 1 3 2 がシートバック背面方向（前方）に変形したときにストライカを支える支え 1 6 a ' をシートバック背面に設けてもよい。支え 1 6 a ' はストライカの自由端 1 3 2 a の前のシートバック背面に設けられ、たとえば、弾性体から略半円球状に形成される。

【手続補正 3】

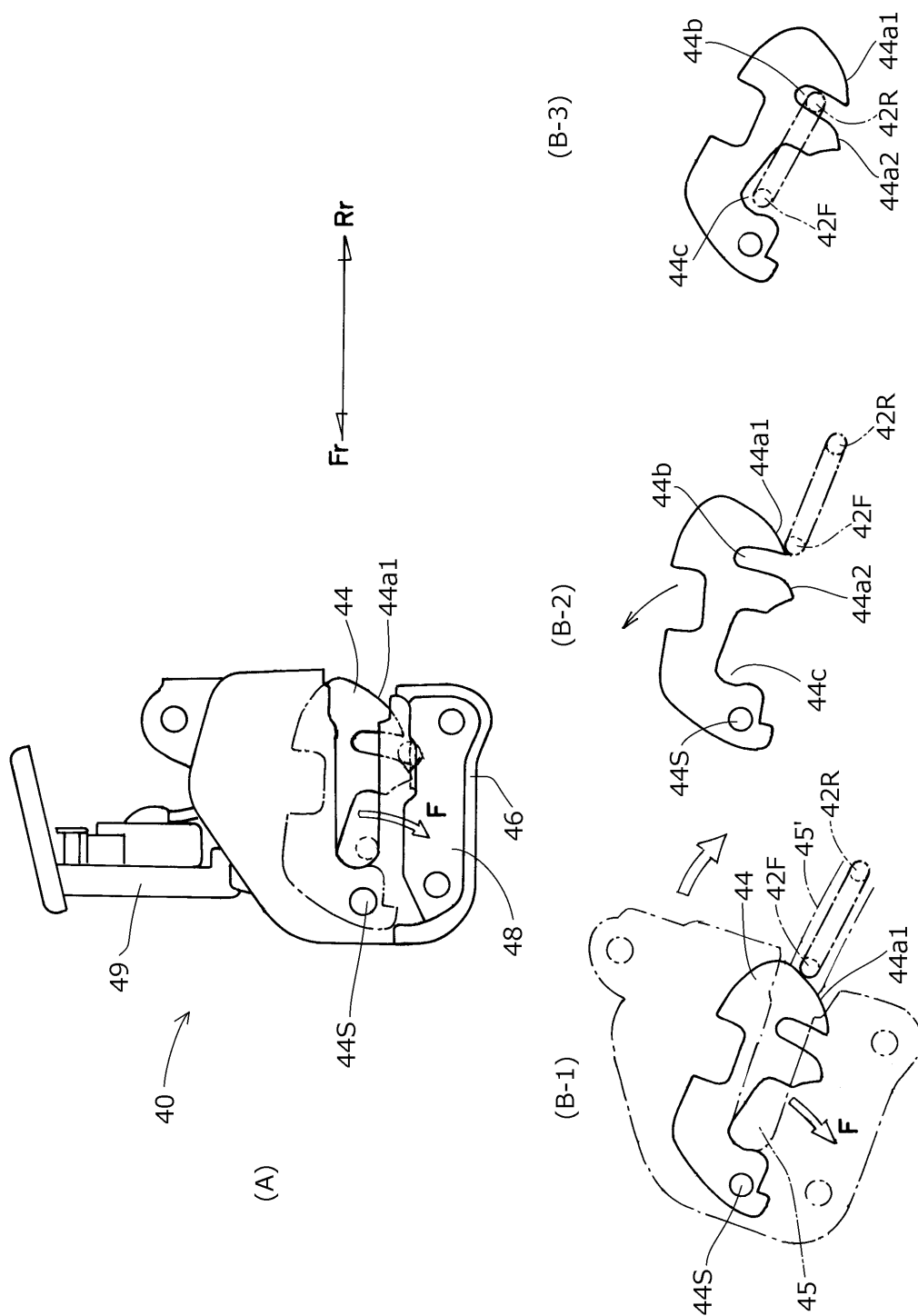
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正 4】

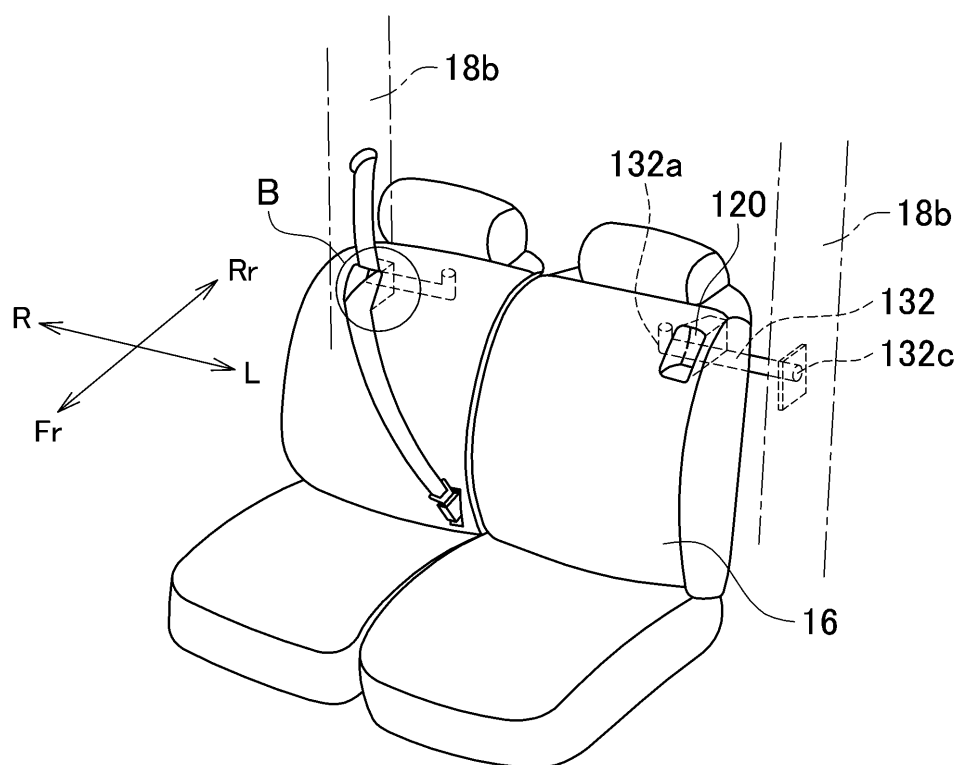
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

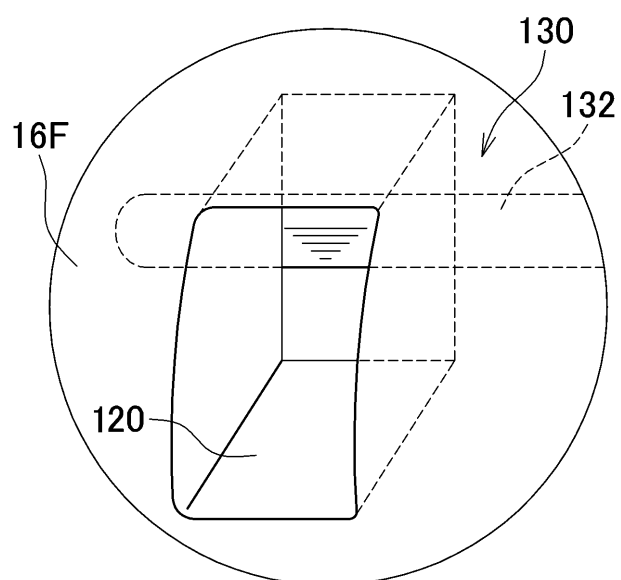
【補正方法】変更

【補正の内容】

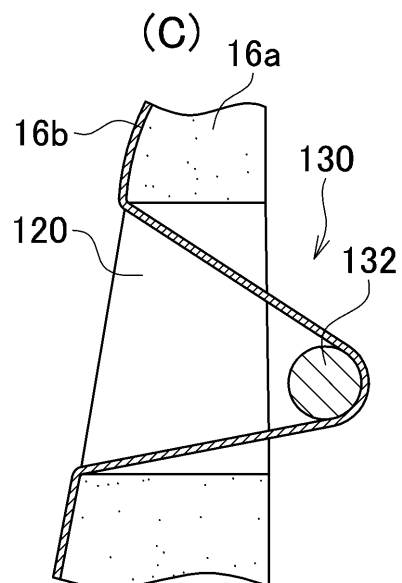
(A)



(B)



(C)



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

